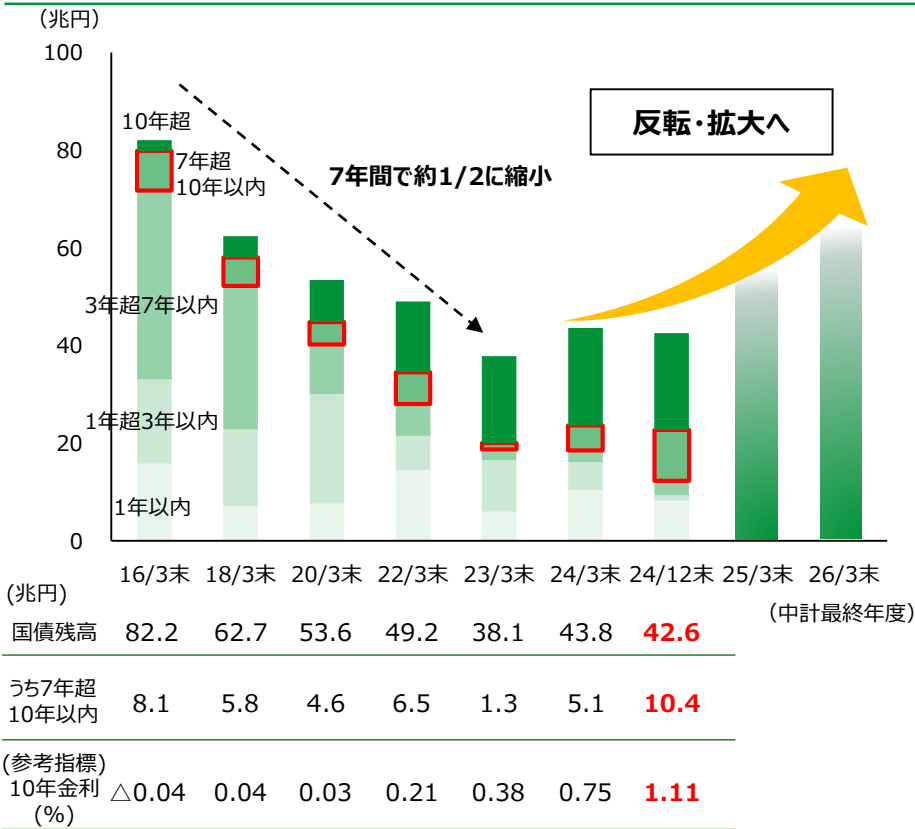


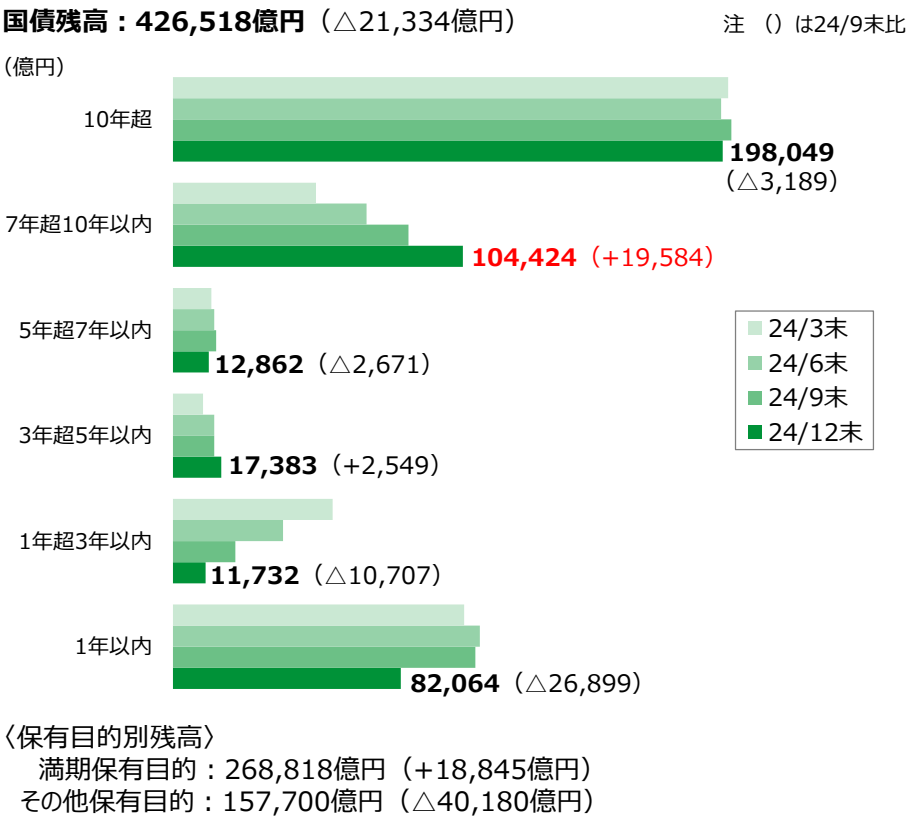
エグゼクティブ・サマリー：⑤円金利ポートフォリオの再構築

円金利の上昇トレンドへの反転を捉え、預け金等から国債への投資シフトを推進し、円金利ポートフォリオを再構築
低金利環境の下で減少してきた国債残高は23年度に反転、順調に拡大

国債保有残高※



残存期間別の国債残高※ (24年12月末)

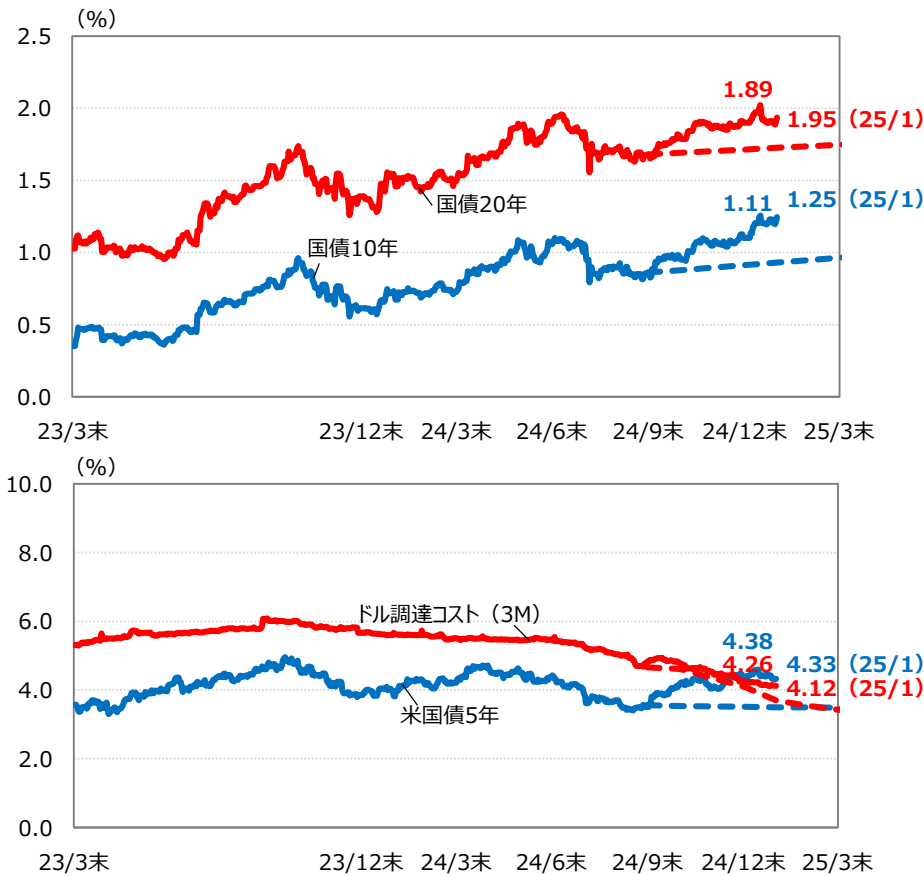


※ 金銭の信託で保有する国債は含まない

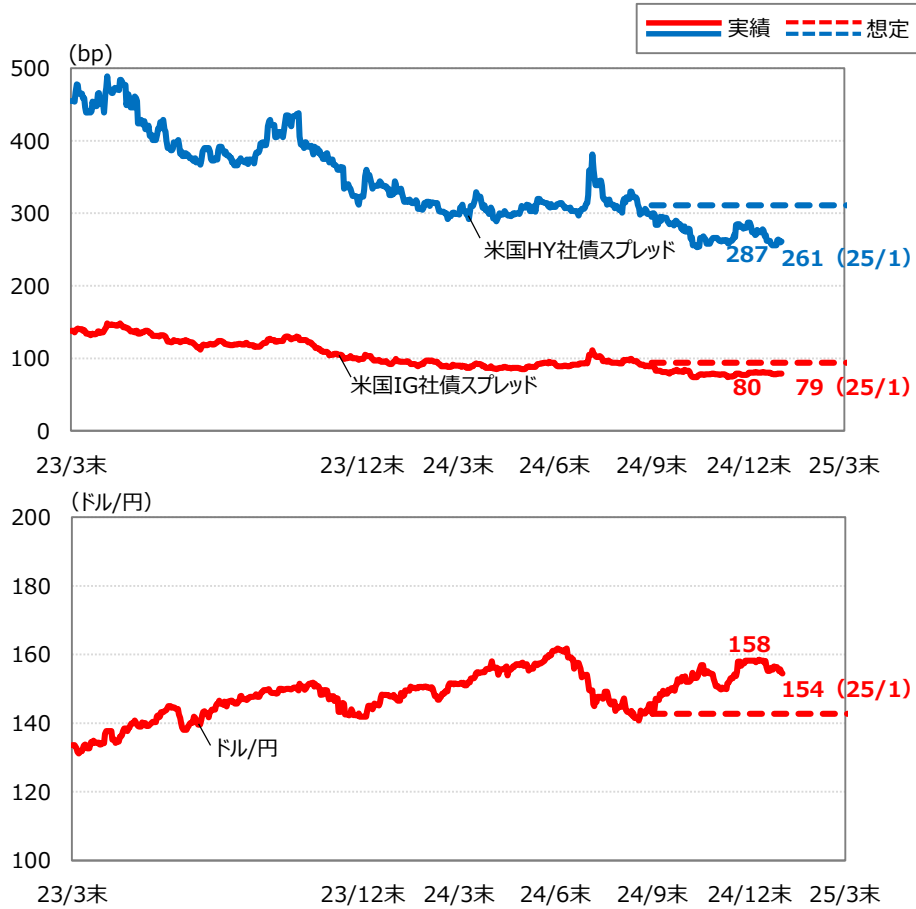
業績予想の前提条件（修正後）

- 内外金利については、24年9月末のインプライド・フォワードレートに沿って推移する想定
- 海外のクレジットスプレッド及び為替については、概ね24年9月末の水準で安定的に推移する想定
- 日銀の政策金利引き上げについては、24年度下期は追加的な利上げを織り込まず

内外金利／ドル調達コスト

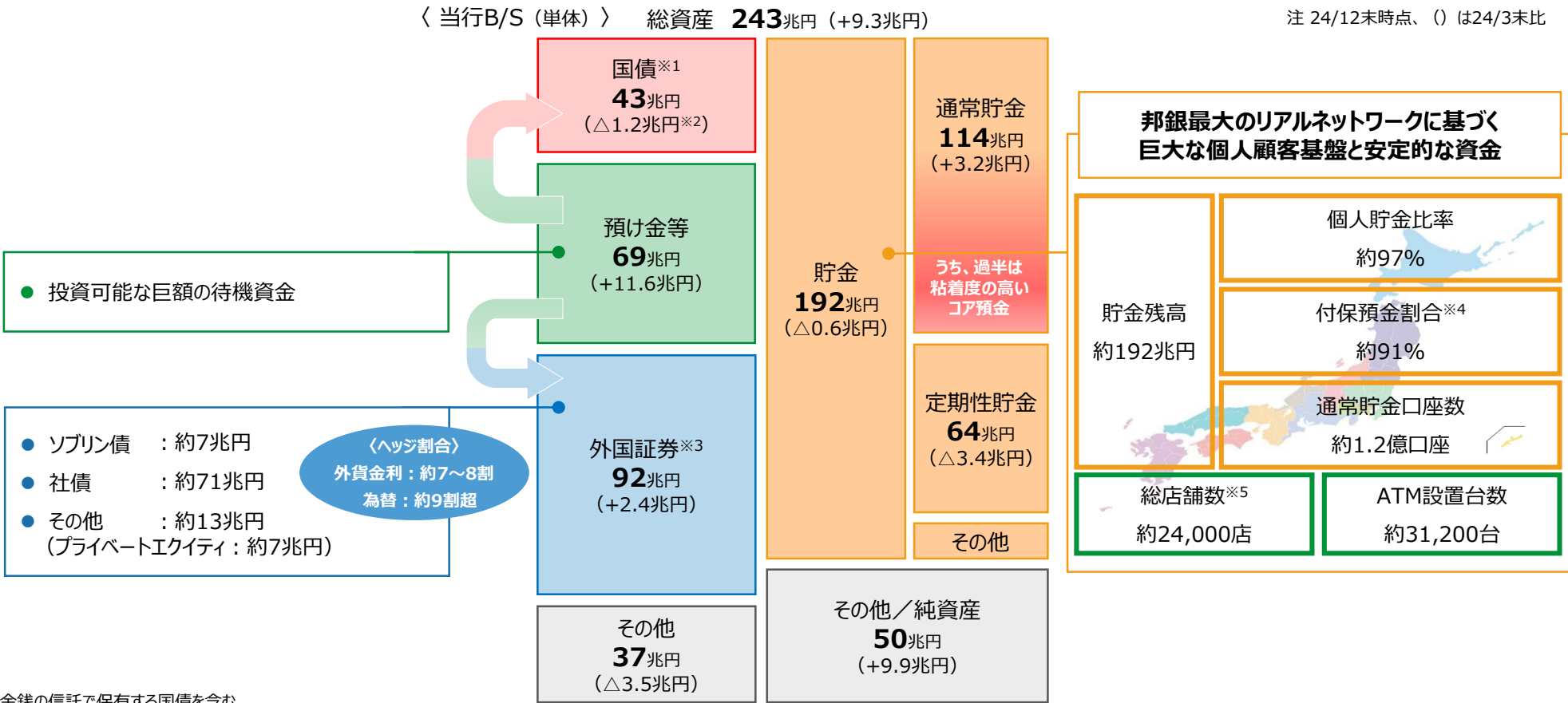


米国IG・HY社債スプレッド／ドル円



マーケットビジネス：③ALMの方向性

小口の個人貯金を中心とする安定的な資金調達基盤・貯金残高を維持・継続
リスク管理を深化しつつ、円金利資産（日本国債、預け金等）とリスク性資産（外国証券等）を組み合わせた最適な運用ポートフォリオを追求



※1 金銭の信託で保有する国債を含む
※2 2024年12月末の国債保有残高が、前年度末比で減少したのは、新規投資額が償還・売却額を下回ったことによるもの
※3 金銭の信託で保有する不動産ファンド、ダイレクトレンディングファンド、インフラデットファンドを含む
※4 預金保険法に定められた預金保険制度対象預金等相当額（概数）が貯金残高に占める割合
※5 郵便局数を含む